州

情報はＪＡ長野中央会
または最寄りのＪＡへ
ＪＡ長野中央会営農農政部
〒380－0826
長野市北石堂町1177-3
ＴＥＬ 026(236)2030
ＦＡＸ 026(236)2008
いいJAん！信州
http://www.iijan.or.jp/

総の取材 直売所訪問

ープFM富士見店

【総】タレントの小島よしおさんが7月下旬、家の光協会の子ど「ちゃぐりん」の取材で、富士見町のＡ・コープファーマーズ産者直売コーナーを訪れた。連載企画「小島よしおの産地へ」の取材で、今回は県内の直売所などを訪れ、直売所の魅力扱う農畜産物や加工品などを紹介する。

同店の五味に、掲載すわせて、冬らではのに見て回っは、同町特た茎、生産者が加工したジャムともに人気が高いことを伝えた。

この他、同町で生産されている体に優しい「ひまわり油」や、諏訪地域特産の寒天なども紹介。小島さんは商品を手に取り、特徴や調理方法などを取材した。同コーナーの壁面に掲示している生産者の顔写真も見ていた。

ＪＡ信州諏訪生産販売課で直売所統括の牛山康人係長は「子どもたちに大人気の小島さんに取材していただきありがたい。全国の子どもたちが長野県の農産物や加工品

産「赤いルバーブ」を紹介。「赤いルバーブ」は、根から葉の付け根まで真っ赤に色づいた野菜で、独特の香りと酸味を持つ。同店では袋詰めし

主任㊨と取材した小島さん

ティータイム

土屋雄一郎さん（ＪＡ長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院看護師）

1年目は回復期病棟に勤務。新型コロナウイルス禍で患者に対応する姿に憧れて看護師になった。趣味はバレーボール。夫婦で打ち込んでいる。「仕事でもプライベートでも自分らしさ全開で、感謝の気持ちを忘れずに最高の人生を歩みたい」と話す。

夏休みの体験 子ら満喫

家族で夏まつり 景品当たり笑顔

ＪＡあづみ 金融共済事業部

【あづみ】ＪＡあづみ金融共済事業部共済課は、「ＪＡあづみこどもくらぶ夏まつり」を安曇野市の安曇野スイス村サンモリッツで開いた。同市在住のくらぶ会員家族9組34人が参加した。

「こどもくらぶ」は、子育て中の母親と子どもを応援し、ＪＡに親しんでもらおうと独自に取り組む活動。子どもたちは、くじ引きやじゃんけん大会などを楽しんだ。キャラクターが描かれたパズルや砂場セットなどの景品が当たった子どもたちは大喜びした。ＪＡ職員が作ったかき氷やフランクフルトを食べながら、親子で楽しい時間を過ごした。

学年を越えて交流 おむすび作り挑戦

ＪＡ信州うえだ 上田東地区事業部

【信州うえだ】ＪＡ信州うえだ上田東地区事業部は、小学生を対象にした「夏休みキッズくらぶ」を上田市のＪＡ上田東支所で開いた。夏休みの思い出づくりや学校・学年を越えた交流、子ども向け雑誌「ちゃぐりん」の普及・活用につなげる

桃を使ったデザートを作る参加者

ーターが指導。地元産の桃とライスペーパーを使った「大福風桃のデザート」作りや、紙コップを振って作る

ん」２０２４年6月号に掲載の楽しく作ろう紙工作を参考に「紙飛行機」を作り、誰が一番遠くまで飛ばせるか競争した。また、新聞紙で紙鉄砲を作り、鳴らして遊んだ。

参加した子どもは「紙飛行機を作るのが大好き。遠くまで飛ばせて楽しい」「おむすびも桃もおいしかった」と喜んでいた。保護者は「楽しい時間になって子どももとても

参加した会員は「去年も参加した。子どもと一緒に楽しんで夏の思い出になった。ありがたい」と話した。

同部の山口純次長は「これからも地域住民に楽しんでもらう活動を企画したい。12月にクリスマスイベントも計画しているので、楽しみにしていてほしい」と話した。

ご飯パンの成形 手慣れた様子で

ＪＡグリーン長野 女性部

【グリーン長野】ＪＡグリーン長野女性部は8月上旬の2日間、「夏休み特別企画 女性部と『ごぱん』を作ろう」を、長野市の若穂農産物加工所で開いた。

2日間で園児と小学生、その保護者ら17組が参加。米の消費拡大を目指し、ご飯を生地に混ぜ込んだご飯パン（通称ごぱん）と、菓子・総菜パンを作った。

食育や女性部と地域の交流、地域貢献の一環として、昨年に続き2回目の開催。

同加工所の協力員で女性部若穂総支部員ら4人が講師を務め、作業工程や方法などを説明し、作業をサポート。パン生地を丸めるこつなどを伝えた。日頃、粘土遊びをしている子どもが手慣れた様子で丸めると、参加者から「上手だね」と称賛の声が上がった。

保護者は「昨年も参加した。今年は申し込んでから孫がずっと楽しみにしていた」と話した。協力員で岡田晴美女性部長は「夏休みの思い出の1ページにしてもらえればうれしい」と話した。

生地のまとめ方（丸め方）を伝える女性部員